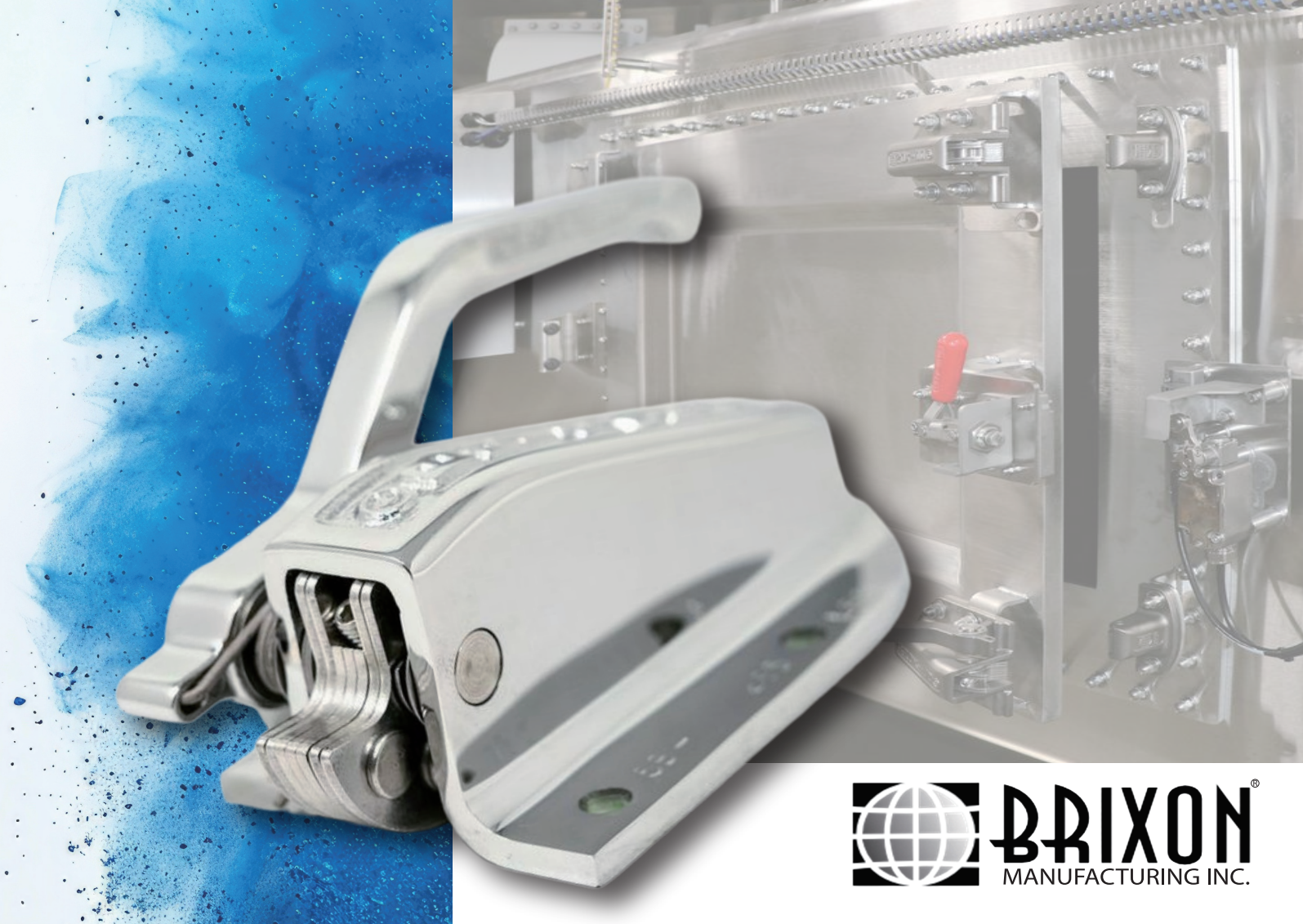


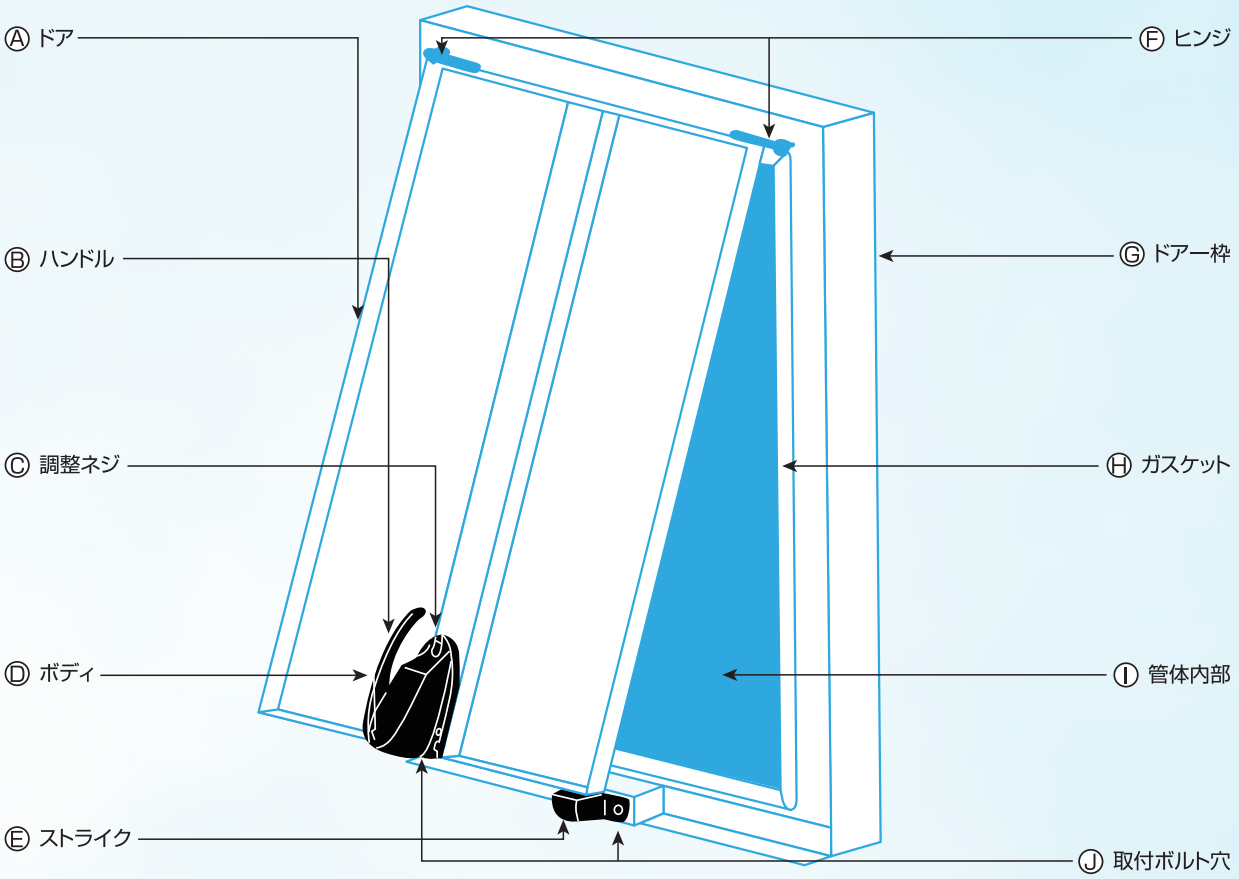
BRIXON®
MANUFACTURING INC.

Safety Latches

爆発放散用安全ラッチ

ShiRoTa TEP
ShiRoTa Total Engineering Planners

ブリクソン安全ラッチは
爆発を放散し事故を防ぎます



爆発放散用安全ラッチの特長

❶**取付がとても簡単です。**[取付ボルト穴Ⓙでボルト止めが簡単に出来ます。]

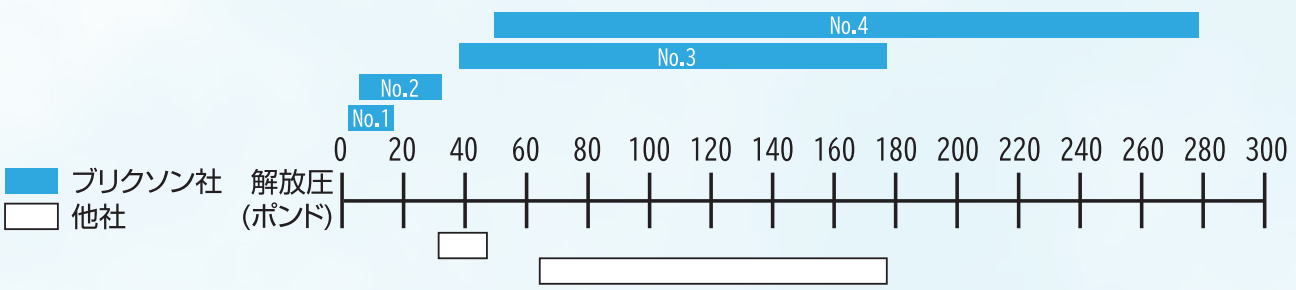
❷**解放設定圧力の調整が容易です。**[調整ネジⒸを六角レンチで回し調整して下さい。]

❸**ドアーが設定圧力で、開放するかどうかを、簡単に確認が出来ます。**
[バネ秤等で目視出来ます。]

❹**解放設定範囲が広い** [下記グラフを参照して下さい。]

❺**破裂板型式のものと違い、何度でも使用することが出来ます。**

❻**爆発放散後、直ちに装置の継続運転も可能です。**



ブリクソン安全ラッチ

ブリクソン安全ラッチの用途は、内部で爆発が起った時に排気し、普通の状態では熱、ガスが漏れないよう確実に密閉することです。ブリクソン安全ラッチは、防爆ドアラッチとしてFactory　Mutual基準で承認されております。製品には多種類のモデルがあり、又、特殊用途に適した多くのモデルを取り揃えておりますので機種選定に際し何かご不明の点がありましたらお問い合せ下さい。

取 付

1. ラッチ解放圧

取付前に解放圧の調整を行って下さい。この解放圧の設定は、管体等の内圧が平常運転時より少し超えた場合にラッチが解放するようセットして下さい。

尚、放散面積及び放散解放圧力の設定につきましては、産業安全研究所/安全資料(粉塵爆発に対する圧力放散設備)労働省産業安全研究所発刊(1975年刊、松田東栄、内藤道夫共著)を御参照下さい。

2. 調整

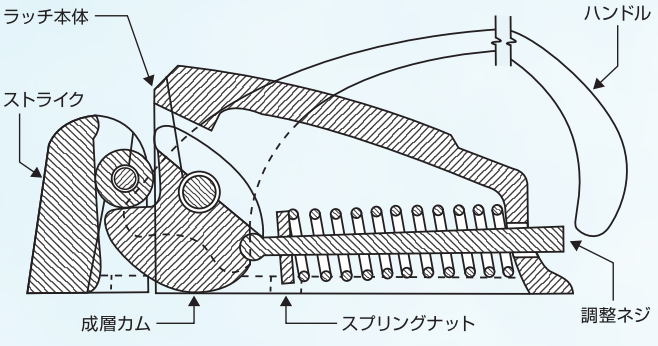
ブリクソン安全ラッチは全機種ラッチ後部の調整ネジを回して解放設定値を広範囲に調整できます。

調整はまずラッチをクローズの位置にセットして行って下さい。調整ネジを左回りに回して一番ゆるくします。この時角ナットがボールピンからはずれない様にして下さい。下の表を参考にして調整ネジを半回転づつ回し設定値に調整します。

(例)4番を108ポンドに設定する場合は調整ネジを半回転を10回回して下さい。(58+ (10×4.94))=108

ラッチ取付後の調整に就いては、調整ネジをいっぱいに締めた状態から左回りに回転させ設定値をセットして下さい。

ご要求があれば、有料で工場にて調整することもできます。



型 番	解放圧		圧力/回転	圧力変化/1/2回転	最大調整
	最低	最高			回転数
No.1	3.9ポンド (1.8Kg)	17ポンド (7.7Kg)	1.46ポンド (0.6Kg)	0.73ポンド (0.3Kg)	9
No.2	10ポンド (4.5Kg)	37ポンド (16.8Kg)	1.86ポンド (0.8Kg)	0.93ポンド (0.4Kg)	16
No.3	43ポンド (19.5Kg)	180ポンド (81.6Kg)	5.96ポンド (2.7Kg)	2.98ポンド (1.35Kg)	22.5
No.4	58ポンド (26.3Kg)	285ポンド (129.3Kg)	9.87ポンド (4.4Kg)	4.94ポンド (2.2Kg)	22.5

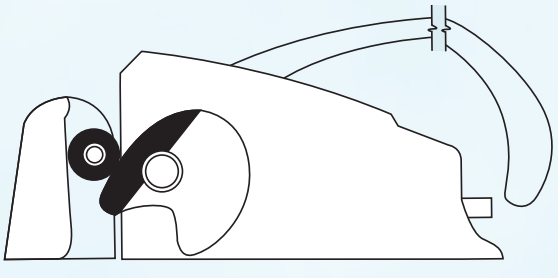
(注) ストライクの位置、ガスケットの圧縮量、スプリングの製造差異あるいは摩擦等の関係で正確な調整はできませんので上の表は参考として使用下さい。
ただし解放圧が臨界点の場合は圧力を直接測定し、より正確な値を出して下さい。推定差異は2回転です。

3. 取付

ラッチとストライクは、各々の中心が一直線になるよう、又その直線がドア枠の線と直角になるように、しっかりと取付けなければなりません。

ラッチとストライクハウジングの間隔は次の様にして下さい。

No.1,1/16"±1/32"　No.2,No.3,No.4,1/8"±1/16"



調整、取付後ラッチが正しく作動するかテストし、次のことを確認して下さい。ドアを開くとローラーがラッチのカムを完全にオープンの位置にし、又ドアを閉じるとそのカムがローラーに接触し、クローズの位置になります。この確認を怠るとラッチとストライクが正常の位置でかみ合わず、ドアが閉じずにはね返ることがあります。

これはラッチとストライクが正規の位置にセットされていない場合にも起こります。ヒンジは頑丈なものを選び、ドアのガタによってストライクとラッチの正しい位置がずれないよう、しっかりと取付けて下さい。加えて、ストライクの取付は、ドアが閉じる時に曲ったり、歪んだりしない様に頑丈にしなければなりません。

ラッチ、ストライク、ハウジング及びヒンジ各々の取付を確実にしないとラッチが誤った位置に閉じることがあります。これはドアを必要以上に強く閉めたり、ラッチ機構部が汚れたり、腐食したりした時にも起こりやすくなります。

爆発が起こっても開きにくくなります。常に危険な状態がおきないよう手入れをし、安全を確認して下さい。鋳造物の許容誤差が比較的大きいため、ラッチとストライクの組合せは、注意深く行って下さい。

ラッチを取りかえる場合、新たに取付けたラッチとストライクが正常な位置にセットされているか再チェックをして下さい。

爆発を起こす粉塵



金属
ジルコニウム・マグネシウム・アルミニウム・チタン・亜鉛
シリコン・フェロシリコン・鉄・マンガン・バナジウム

樹脂
アリルアルコール・フェノール・ポリエチレン・リグニン
酢酸セルロース・尿素・ポリエチレン

樹脂成形コンパウンド
酢酸セルロース・フェノール・合成ゴム・尿素・CMCナトリウム塩
ポリエチレン・ビニール

樹脂一次原料
無水フタル酸・樹脂安定剤・塩素化パラフィン・酢酸セルロース
尿素・ポリエチレン

脂充填剤
綿フロック・木粉・パルプ

農産物
コンスターチ・大豆・小麦・砂糖

その他
石炭・コールタールピッチ・硬質ゴム・石鹸・硫黄
ステアリン酸アルミニウム



輸入代理店

シロタテップ株式会社

https://www.shirota-tep.co.jp/

販売代理店